氏名	久保田 亮	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	公衆衛生学、健康食品学				
学位	博士(保健学)				
学歴	1997年共立薬科大学(現 慶應義塾大学)薬学部、2001年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本電気泳動学会(評議員本臨床検査医学会、日本国	員)、生物試料分析 臨床衛生検査技師	f科学会(評議員)、日本 f学会、日本薬学会など	オゾン医療・審美学:	会(常任理事)、日

【2017年度実績】

【201/年度美額】						
1. }	1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は〇印)	発行・発表年月	
(1)						
1	該当なし					
(2)	論文					
1	高齢者のフレイル予防: ヘルスリテラシーに着目したIPW支援プロジェクト	共著	地域ケアリング、19(8)、 p70-72	善生まり子, 藤縄理, 久保田亮, 菅野康二, 戸田肇, 中村裕美, 菊 池東陽, 小原弘子, 森 鍵祐子, 黒田真由美	2017年7月	
(3)	学会発表					
1	PCSK9阻害薬の小型LDL、超小型LDL低 下作用	共著	第49回日本動脈硬化学 会総会·学術集会、広島 市	後藤誠一,池上裕一, 井上郁夫,島田朗,野 田光彦, 久保田亮 ,穐 田真澄,中野貴也,柳 捷凡	2017年7月	
2	地域住民の食塩感受性遺伝子と血圧・食 塩摂取量との関連	共著	日本臨床検査自動化学 会第49回大会、横浜市	久保田亮,荒川恭子, 井原寛子,酒井伸枝, 西澤美穂子,室橋郁 生	2017年9月	
3	リポ蛋白分画解析のための自動分析装 置の開発・評価(第2報)	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	渡邉沙耶, 山田郁美, 塩入あずさ, 井上郁 夫, 久保田亮	2017年10月	
4	リポ蛋白質解析のためのポリアクリルアミ ドゲルディスク電気泳動法の評価	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	山田郁美, 渡邉沙耶, 塩入あずさ, 井上郁 夫, 久保田亮	2017年10月	
5	IgA腎症患者における尿中蛋白の解析	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	植生怜奈, 佐々木麻 由, 西澤美穂子, 五十 嵐徹, 久保田亮 , 酒井 伸枝	2017年10月	
6	前彎負荷試験後の尿に増加する27.7kDa 蛋白の解析	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	溝口可奈,赤塚麻衣, 長谷川英舞,西澤美 穂子,五十嵐徹,久保 田亮	2017年10月	
7	SDS-PAGE法を用いた学校検尿の解析	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	赤塚麻衣, 溝口可奈, 長谷川英舞, 西澤美 穂子, 五十嵐徹, 久保 田亮	2017年10月	
8	食塩感受性遺伝子と1日食塩摂取量の関 連性	共著	関甲信支部・首都圏支 部医学検査学会(第54 回)、さいたま市	佐々木麻由, 埴生怜 奈, 久保田亮 , 金森き よ子, 酒井伸枝	2017年10月	
9	Urinary protein analysis for early detection of IgA nephropathy	共著	The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine, Kyoto	Mihoko Nishizawa, Ryo Kubota , Toru Igarashi, Nobue Sakai	2017年11月	
10	リポ蛋白分画解析のための自動分析装 置を用いたLDL粒子径測定の検討	共著	第28回生物試料分析科 学会年次学術集会、山 形市	久保田亮, 山田郁美, 渡邉沙耶, 金谷瑞希, 細谷孝子, 井上郁夫, 酒井伸枝	2018年3月	

(4)	その他					
, ,						
1	該当なし					
2. 克	2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省•日本学術振興会科学研究費	補助金(基盤研究	フレイル予防に貸する地域高齢者ヘルスリテラ シー促進の様相:IPW支援プロジェクト(研究分	2016年度~2018年		
	C) 担者) 度		度			
3. ‡	教育業績 	,				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1)	講義	ī				
1	環境保健学·関係法規	2017.10~2018.2	臨床検査技師国家試験問題のうち環境保健学・関係法規分野に関係のある問題を示しながら進めた。教科書には反映されていない最新の法律改正の内容や最新のデータに基づく内容をブリントとして配布し講義演習を行った。			
2	情報科学概論	2017.6~2017.8	臨床検査技師国家試験問題のうち情報科学分割を示しながら進めた。特に医療分野に用いる情報 で講義した。	報科学の基礎につい		
3	疾病と健康食品	2017.6 ~ 2017.8	11月に実施される健康食品管理士認定試験の認定取得に向けた学生支援を行うとともに、現在の健康食品の状況、健康食品に関する法律、医薬品と健康食品の関わりなど、社会に出て役立つ知識を講義した。			
4	検査管理総論	2017.10~2017.11	検査管理総論のうち、臨床検査技師国家試験に 理の部分を担当し講義した。計算問題について 習形式で講義した。			
(2)	演習					
1	検査総合演習 II	2017.12	これまで学んできた臨床検査の各専門分野のう 衛生学に絞って、まとめと総括を行った。	ち、医動物学と公衆		
(3)	 実習					
1	環境衛生検査学実習	2017.4~2017.7	装置・器具の不足を補うためグループ毎にローー 習させた。グループ内で必要な装置や器具、試 備をさせた。実験結果はグループで共有して報	薬を考えさせ、自ら準		
2	衛生検査学実習	2017.10~2017.12	病院以外での臨床検査技師の仕事である衛生検査について学び、 検査センターや衛生検査に関わる施設見学も行い、水・大気・土壌 などの検査についても実習した。			
3	IPW実習	2017.8~2017.10	IPW実習科目責任者としてWebClassの設定を行った。また地域担当として学内でのオリエンテーション及び報告会の運営を行った。			
(4)	 論文指導					
1	修士論文指導	2017.4~2018.3	指導補助:1名			
2	卒業論文指導	2017.4~2017.12	卒業研究生:6名 そのうち4名については関甲信 医学検査学会(第54回)で発表させた。	言支部∙首都圏支部		
(5)	その他					
1	非常勤講師対応(医動物学実習、健診検 査)	2017.4~2017.7	非常勤講師が授業を進めやすいようにテキスト作成の補佐、講義の 準備、実習事後指導等の補佐を行い、時間割、シラバス等の次年度 の打ち合わせを実施した。			
2	臨地実習病院担当	2017.10~2018.3	済生会栗橋病院の施設担当として、2名の学生 連絡・調整や学生指導を行った。	を担当し、施設との		
<u> </u>	社会貢献活動 					
(1)	講演会、研修会等の講師					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月		
_	該当なし					
(2)	国、自治体、財団法人等における委員] re- un		
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称 任期 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		仕期		
	該当なし					
(3)	ジャーナリズムでの発言	ф.		le =		
-	メディア等の名称	内容		年月		
	該当なし					
ე. <u>-</u>	学内運営(委員会委員)					

1	研究推進委員会				
2	大学院学生支援委員会				
3	IPW実習科目責任者会				
4	検査専攻内就職担当				
5	5 検査専攻内入試担当				
6	検査専攻3年学年担任				
6.	6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月		
1	該当なし				
7. !	7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月		
1	該当なし				
8. !	8. 特記事項				
1	該当なし				